



地域ってなんのこと？



A. みんなが生活している場所のことだよ

「地域」という言葉の定義をむずかしく考える必要はないよ。
市区町村は、地域という考え方のひとつだけれど、行政によって分けられた範囲なんだ。
生活(経済)活動の範囲とは一致していないんだね。

地域っていうのは、そこにいる人々の活動や社会関係の総体、ということができる。
生活をしている人がいなかったら、地域とは呼べないんだ。
人と人がつながって何かしらの活動をしている、その範囲を「地域」と呼ぶんだね。

それは住んでいる家がある町内、という意味だけでもないんだよ。
いつも立ち寄るコンビニやたまに行く本屋さん、近所のおじさんやおばさん、[学校](#)や[放課後等デイサービス](#)。
そのときに[活動している](#)その場所を「地域」って呼ぶんだ。

いつも行くその場所で、知っている人がいたらどんなだろう？
自分を知っていてくれる、ということが安心感につながるよ。
だって自分を知ってもらう、相手を知っているっていうことは関係づくりの基本だから。

自分を知っていてくれるということは、こちらも相手のことを知っている、ということだからね。
お互いにちゃんと誰であるかどんな人であるかが解っている。
そこで良い関係性を作れたら、困ったときや協力が欲しいときにも、頼みやすいと思うんだ。

地域に認められる、溶け込んでいるということは生きていくうえでとても大切なこと。
サービスを利用する子どもたちは、それぞれの地域に住んでいるからね。
その地域で、より良い生き方が出来るようにしたいものだよ。

《MENU》

[《選ぶときに注意することは？》](#)

[指定基準って、なに？》](#)